

## こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。  
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営  
の資質向上に努めて参ります。

A：たいへんよい  
B：よい  
C：一部検討を要する  
D：改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか	○				・今年度は基本方針"三つのゼン"にこだわり教育保育をすすめてきました。職員はどのような活動も"三つのゼン"を基に考え、話し合いを重ね、子どもたちの健やかな成長を育めるよう努めてきました。そして、保護者にはその教育保育内容を、玄関掲示（ドキュメンテーション）やクラスだより等にてお伝えしてきました。しかし、その保育の意図を十分理解していただけるまでには至らず、このことを今後の課題として、全職員で日々研鑽を積み、より多くの方に理解していただけるよう努めていきます。
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか	○				
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか	○				
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			・今年度は、昨年度の課題を受けて、入園から終了までの長期的な視野を持った指導計画の作成に着手しました。そして、その計画に基づき、生活や遊びを通して、子どもがやりたい活動を実現できたかPDCAサイクルで検証し、改善するよう努めました。 ・行事を単なるイベントとしてではなく、子どもが主体的に活動し、喜びや感動、達成感等を味わえる機会として捉えています。普段の遊びとの関連性を考え計画することの重要性を意識し、今後の課題として職員間で共通理解しました。
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	○				
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				・子ども一人一人の健康状態や発育発達状態は常に職員間で共通理解しています。また、園全体で改めて共通理解すべきこと（アレルギー、熱性けいれん等があった場合等）は、その都度朝礼等で報告し全職員への共有を徹底しています。
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか	○				
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか	○				
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか	○				・今年度も地域の資源を活用し、園児が心揺り動かされるような豊かな体験を積み重ねてきました。地域の方との交流は、本園の特徴として掲げていることです。今後も、地域の方との日常的な連携を図り、必要な協力が得られるよう努めていきます。
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			・園児一人一人の気持ちを丁寧にくみ取り、受容的なかわりに努めています。子どもが興味を持ち、やりたいことに自発的に取り組むことが出来る環境を整備するようにしています。今年度は、その中で、保育者の意図的な配慮が重要であることを再確認しました。それをふまえ、これからも職員の更なる資質向上を図り、子どもの「生きる力の基礎」を育むことに努めていきます。
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか	○				
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育んでいけるよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題	
		A	B	C	D		
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			・ 小学校への就学がスムーズにいくよう年間計画を基に、小学生との交流や学校見学、小学校教師との意見交換などを実施しています。また、園児の指導要録を作成し、卒園後小学校校長に送付しています。今後は、本園で実践している主体的な活動で育まれる力を小学校教師と共有し、子どもの成長が分断されることの無いよう円滑な接続に努めていきたいと思います。	
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○				
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されているか		○				
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			・ 保護者との間に信頼関係を築くため、相互の意思疎通の積み重ねを大切にしてきました。利用者アンケートで一部指摘があったように、保育者の対応で改善が必要なことも明確になりました。子どもや保護者の実情と気持ちを受け止め、誠実に対応し、相互信頼の更なる構築に努めています。 ・ 児童虐待に関する研修を受けた職員より、正しい理解と対応について情報の共有をしました。また、虐待が疑われた場合の園の対応について、職員間で再確認を行いました。	
	(2) 虐待に対応できる園内の体制（医療機関・児童相談所など専門機関との連携）の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○				
	(3) 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか	○					
教育保育を支える組織的基盤	(1) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				・ 看護師は、感染症が流行している時期の園内の衛生管理をしっかり行い、感染の予防と拡大防止に努めています。また、保護者からの健康に関する相談への対応や食物アレルギー児の個別ケア等、その専門性を生かしてその役割を果たしています。	
	(2) 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○					
	(3) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか	○					・ 避難訓練は、地震、火事、水害など、様々な災害と時間帯を想定して毎月実施しています。また、不審者侵入防止訓練も行っています。訓練後は、評価反省を行い、災害に備えた環境（人的、物的）の整備に努めています。
	(4) 地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか	○					
	(5) 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上を図れるよう努めているか		○				
	(6) 研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極に行っているか	○					
	(7) 事業計画が職員に周知されているか		○			・ 事業計画等は社会福祉法人小松市大和善隣館のホームページに掲載されています。しかし、周知の方法が不十分のため、知っていただく機会があまりありませんでした。今後、多くの方に周知できる方法を検討していきます。	
	(8) 事業計画が利用者に周知されているか			○			
	(9) 守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか	○				・ 保護者からの苦情があった場合は、社会福祉法第82条の規定に沿って適切な解決に努めています。苦情解決の仕組み等については、ホームページで公開しています。保護者からの申し出があった場合は第三者委員へ報告を行っています。	
	(10) 個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか	○					
	(11) 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			・ 今年度、職員一人一人がキャリアアップ研修を自発的に受講しました。教育保育の質を高めるための知識・技能のレベルアップを図ることが出来ました。来年度以降も積極的にすすめていく予定です。 ・ 年3回職員は自己評価を行い、自身の教育保育実践を振り返り課題を見つけっています。また、今年度よりキャリアパス評価も実施し、組織の中で担うべき役割を果たしているかも評価します。これらの評価に基づき、全職員により園の課題を明確にし、改善を重ね更なる向上を図っていきます。	
	(12) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○				
	(13) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○				
	(14) 個人の評価結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○				
施設関係者評価							
・ 子どもの主体的な活動に関しての取り組みは、昨年度より継続し実践を積み重ねている。行事等からその成果は十分感じられ、子どもの主体性が見られる。職員のチームワークの良さも感じられる。 ・ 昨年度の反省を生かし、保護者アンケートの内容改善をおこなった結果、保護者の本音が反映しやすく、課題が把握しやすくなったと思われる。職員一人一人がそれぞれの立場で課題を見つけ改善してほしい。保護者対応に関しては、職員全員での共通確認が必要である。 ・ 職員の適性や研修の希望等を見据え、適切な指導を行い、職員の更なる資質向上を図ってほしい。							